



表面処理技術から未来を創造する

第60期・2020年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社 JCU

東証 1 部 4975

2019年8月2日(金)



2020年3月期1Q 業績概況

当社決算の概況

〈1Q会計期間〉

JCU(単体) → 4月 - 6月

海外子会社 → 1月 - 3月

《電子部品分野向け》

- 4G新機種の技術革新の鈍化、および5Gの商用化待ちを背景に、スマホの買い替え需要が減少。
- 前期後半からのスマホの販売・生産低迷が継続したことで、薬品の需要は軟調に推移。
- 売上高は、好調であった前年同期に比べ減少した。

《自動車分野向け》

- 国内は自動車部品メーカーの稼働が全体的に低調であった。
- 海外は中国において、新規獲得はあったものの、米中貿易摩擦の影響を受け、生産稼働が鈍化。国内外ともに、薬品の販売はほぼ横ばいに推移した。

《装置事業》

- その他装置は、大型案件の減少に加え、進行中の工事が遅れたことで、売上は大幅に減少。

2020年3月期1Q 業績概況

【連結】

(単位：百万円)

	前年同期 (2019年3月期1Q)	2020年3月期1Q	対前年同期増減率
売上高	6,599	4,793	▲27.4 %
営業利益	1,726	1,278	▲25.9 %
経常利益	1,738	1,292	▲25.7 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,288	908	▲29.5 %
1株当たり 四半期純利益	46円30銭	33円49銭	—

為替レート

(単位：円)

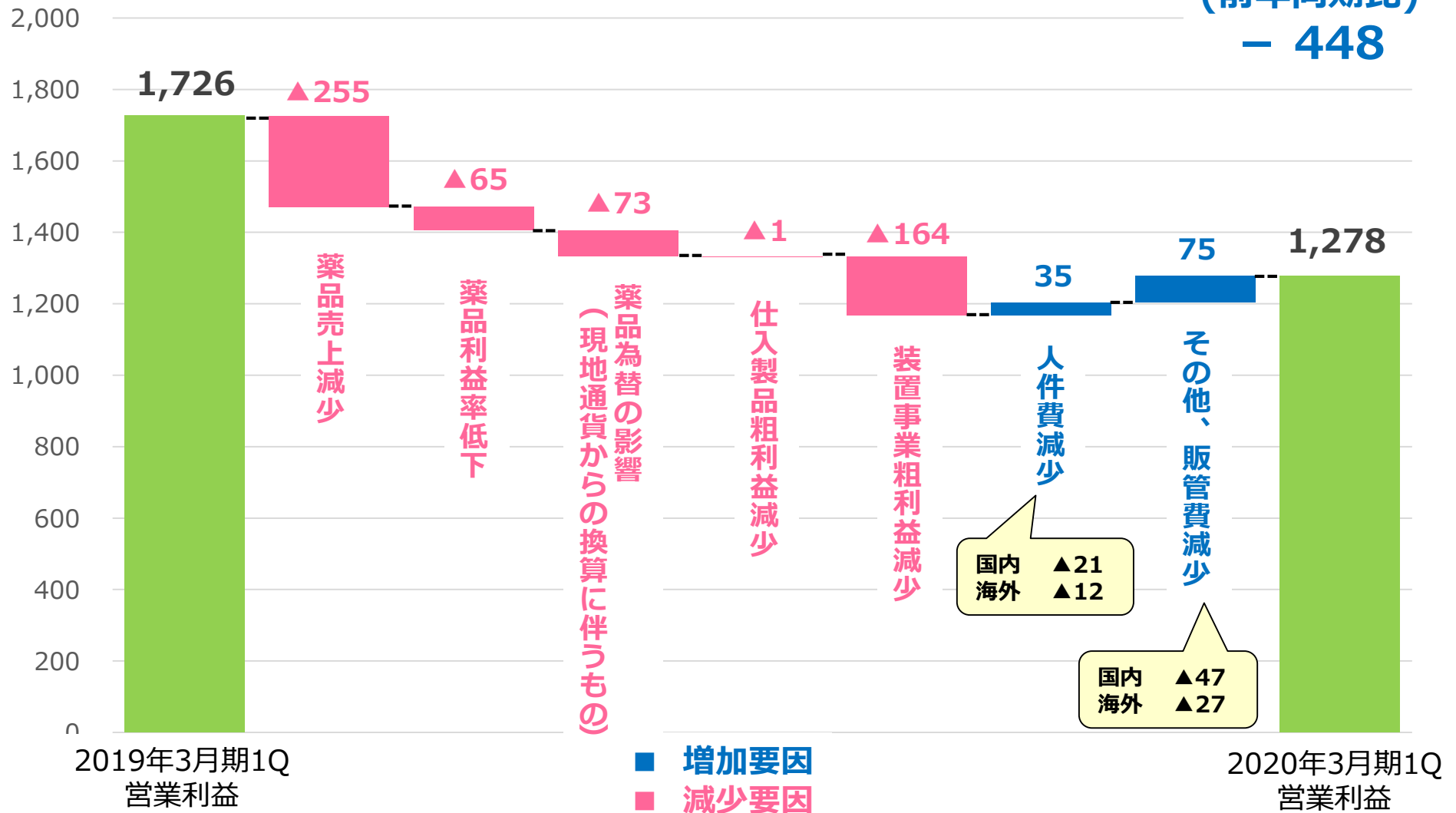
	2019年3月期				2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	予算	1Q
中国 人民元 (C N Y)	17.05	17.09	16.85	16.72	16.50	16.32
台 湾 ド ル (T W D)	3.70	3.68	3.67	3.67	3.70	3.58
韓 国 ウ ォ ン (K R W)	0.1010	0.1011	0.1005	0.1004	0.1020	0.0980

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

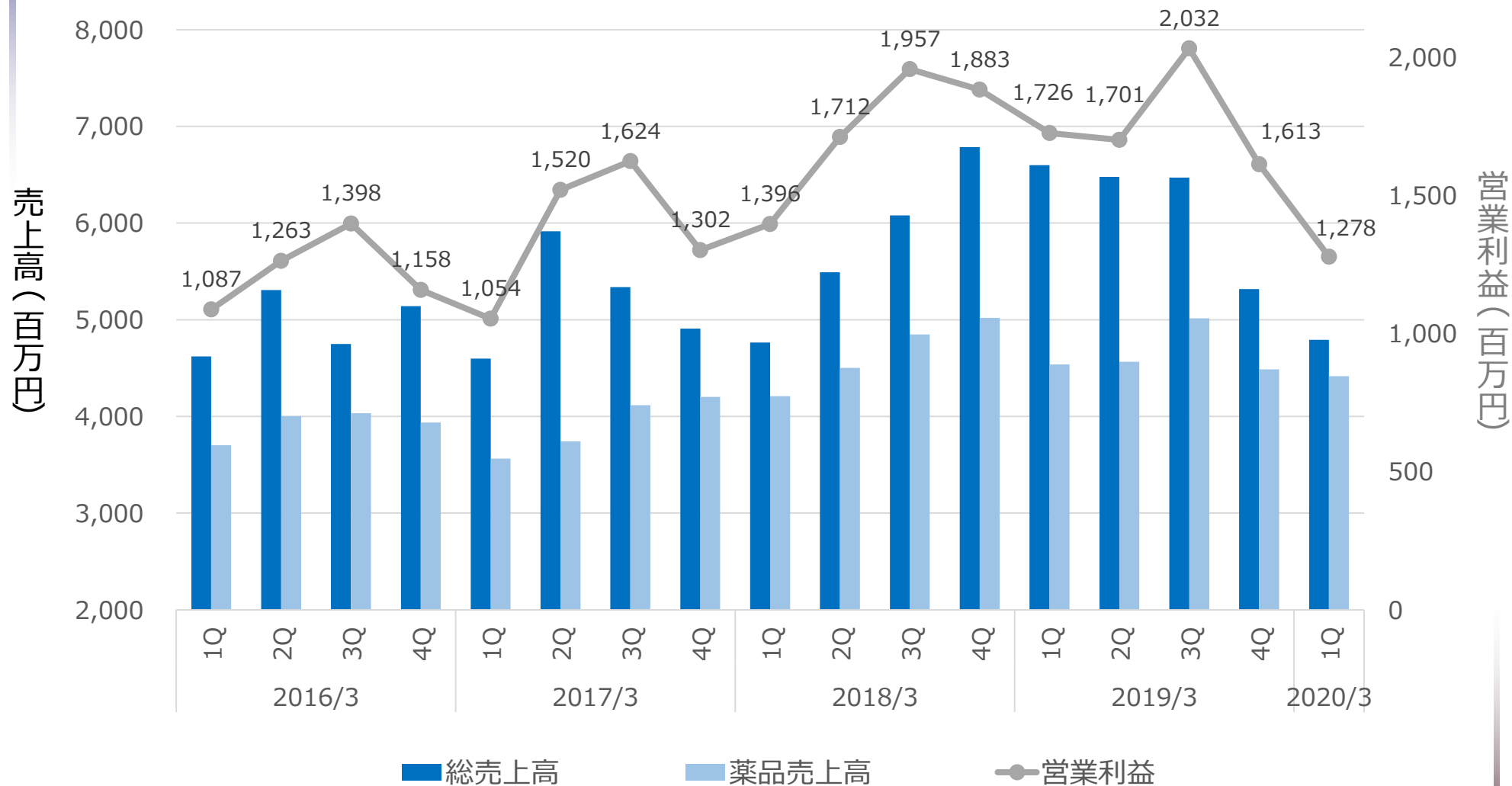
2020年3月期1Q 連結営業利益 増減内容

(単位：百万円)

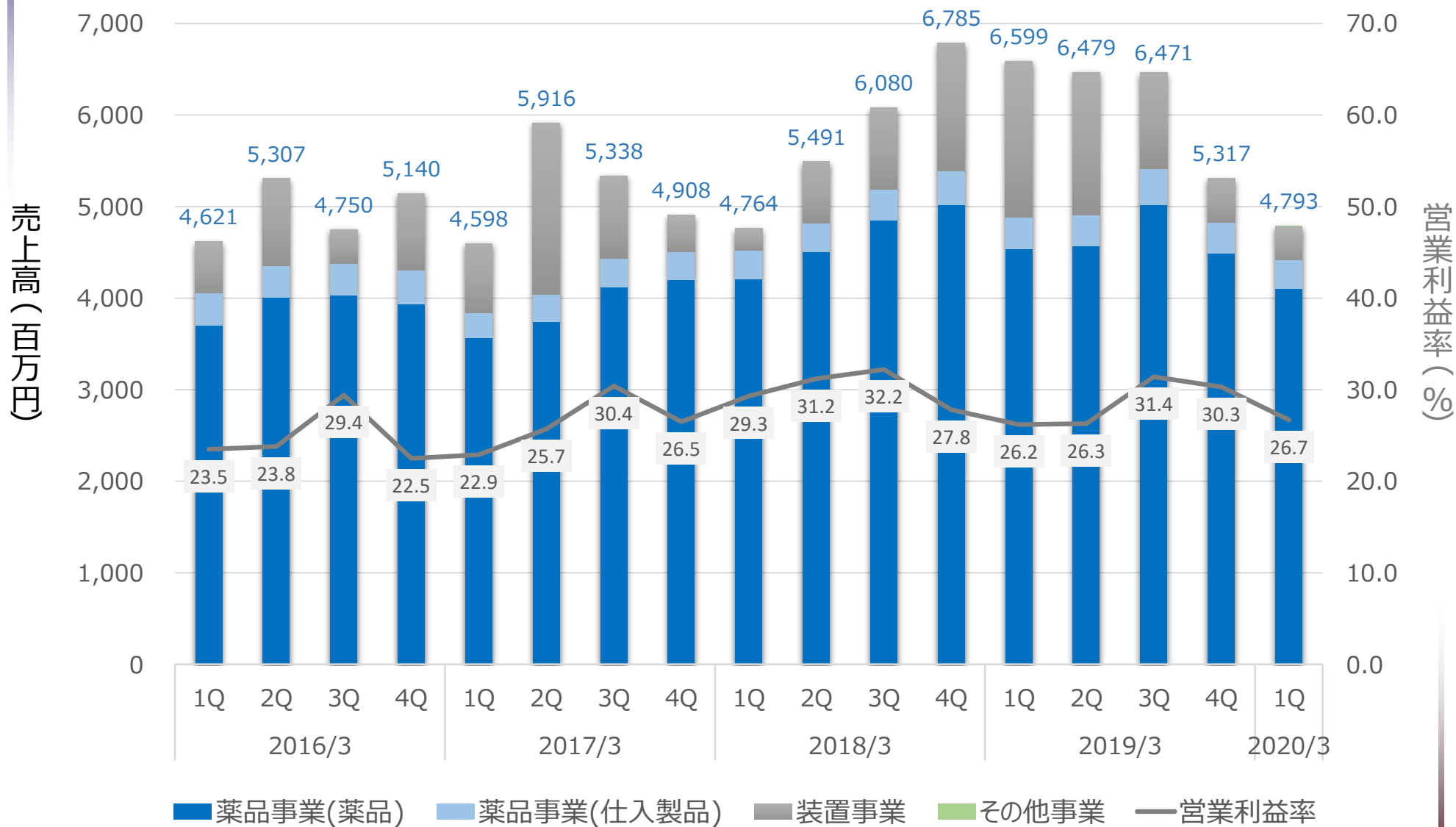
(前年同期比)
- 448



四半期別 連結業績の推移

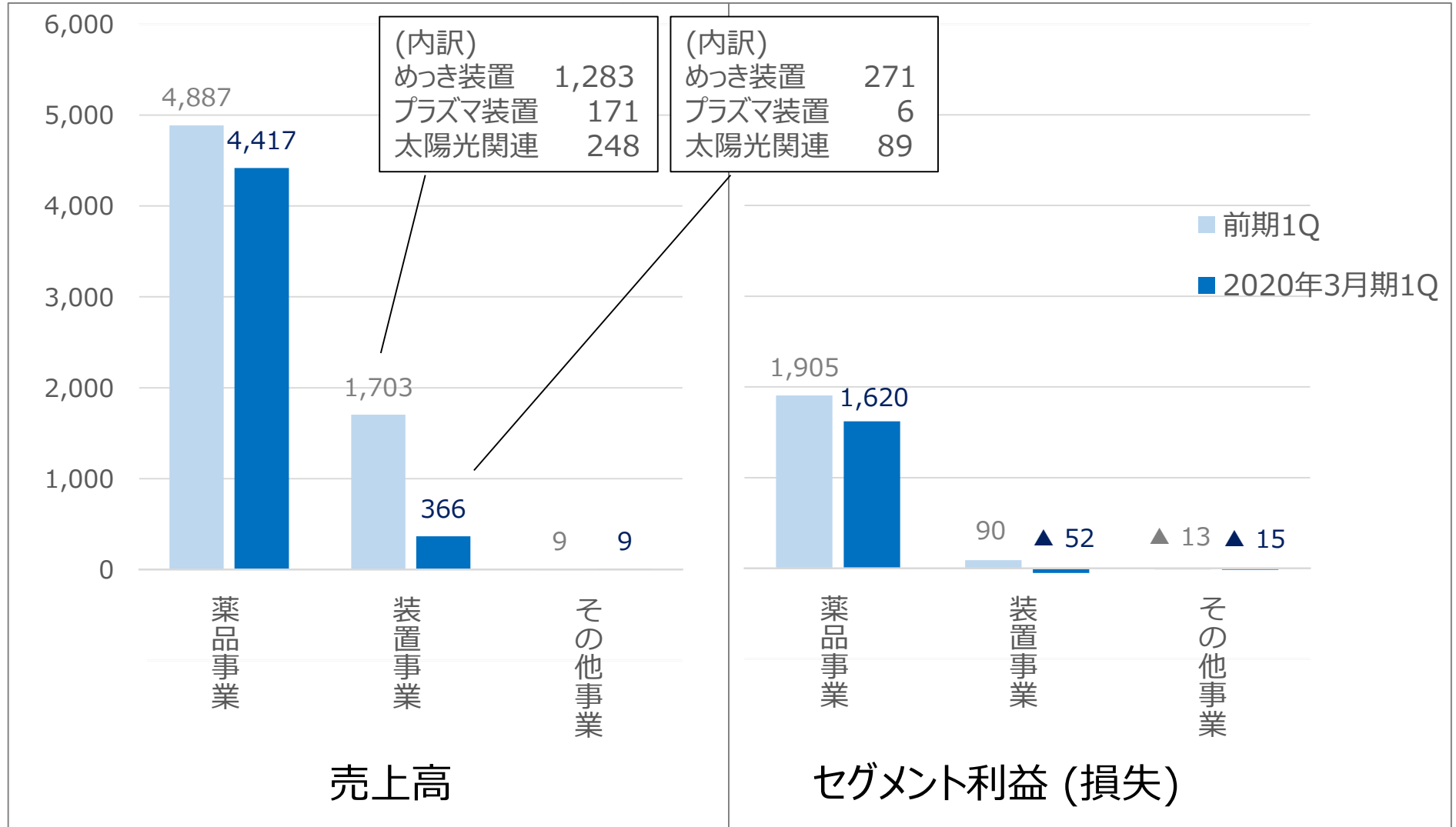


四半期別 連結業績の推移



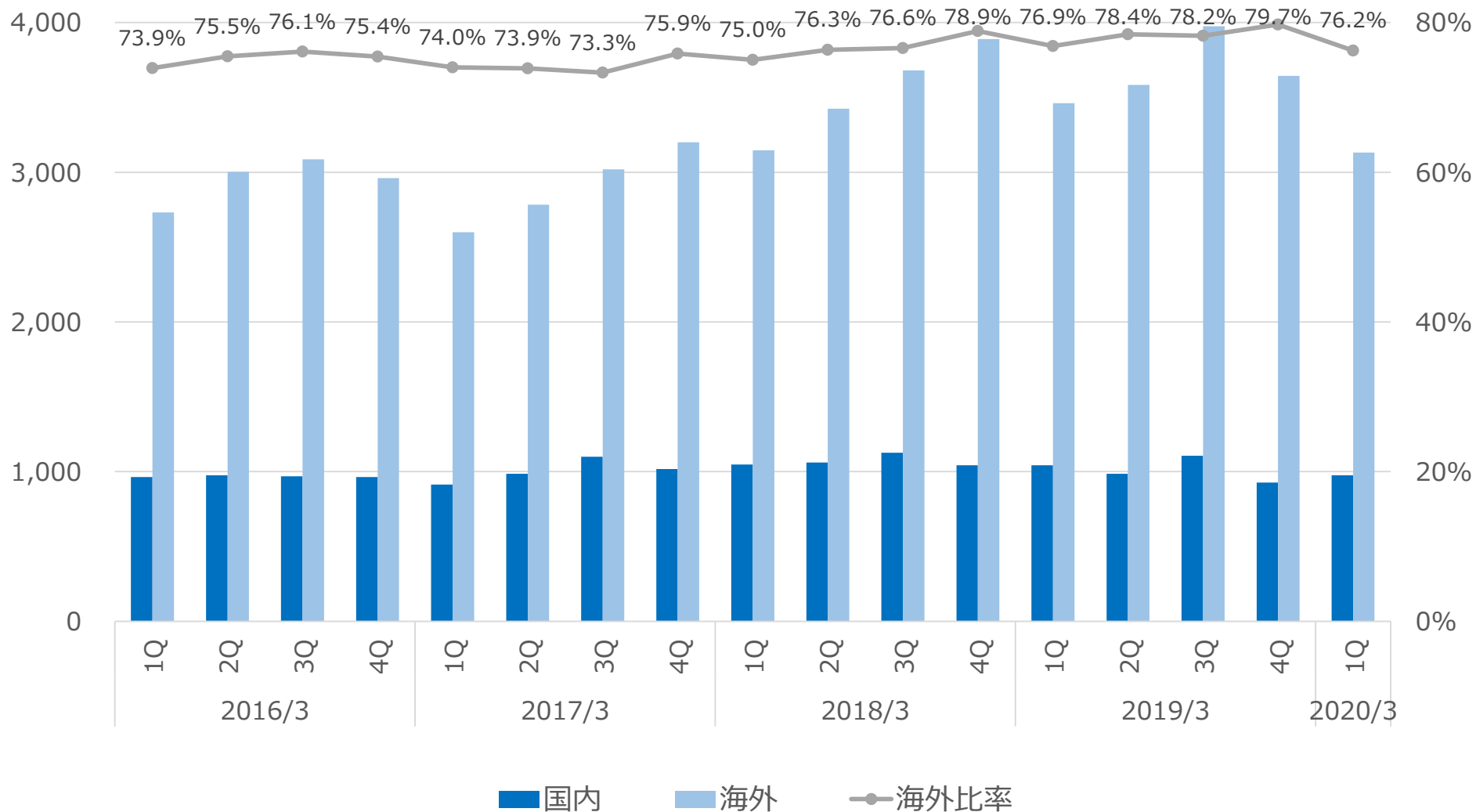
2020年3月期1Q 連結セグメント業績

(単位：百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

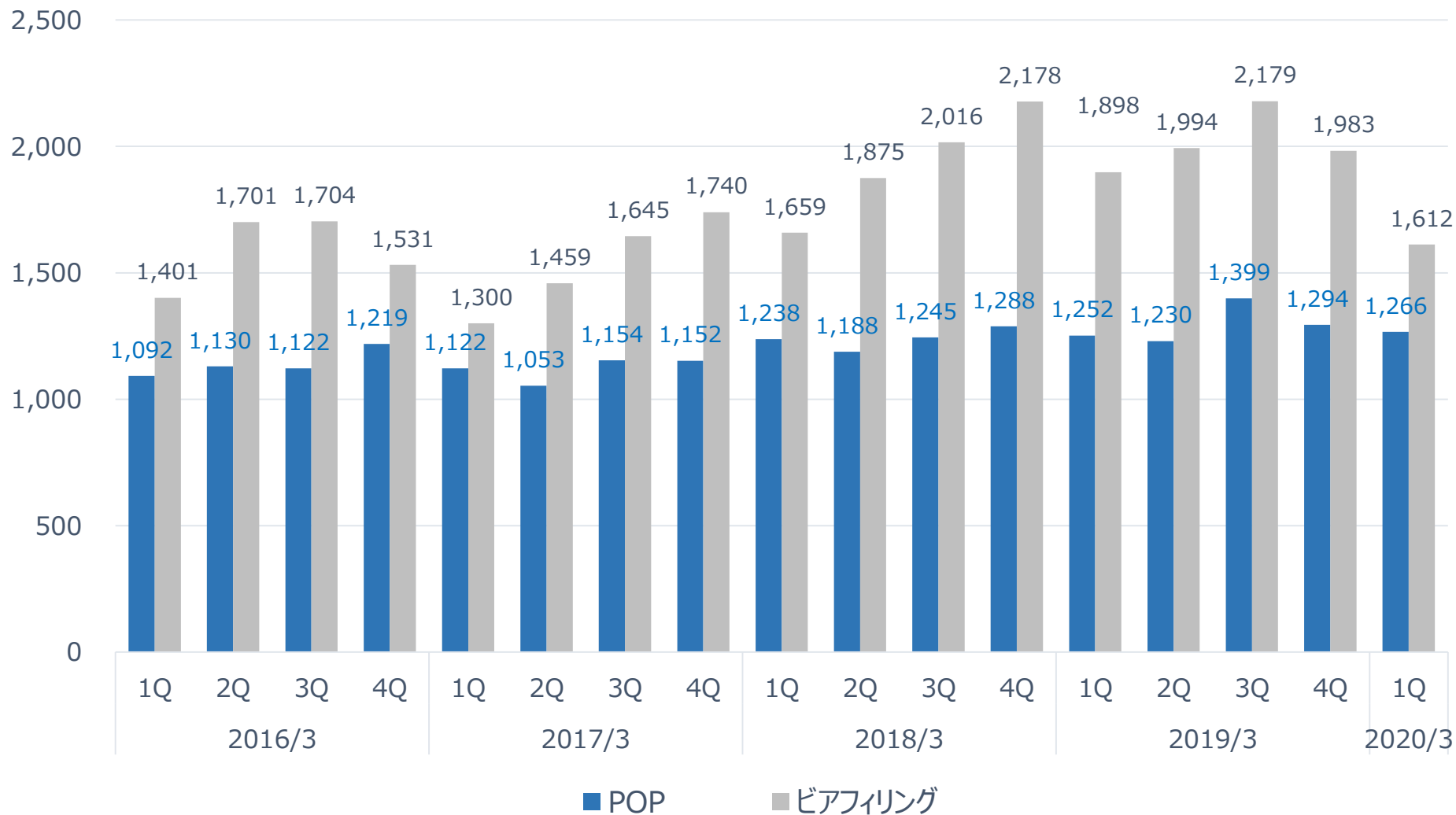
(単位：百万円)



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

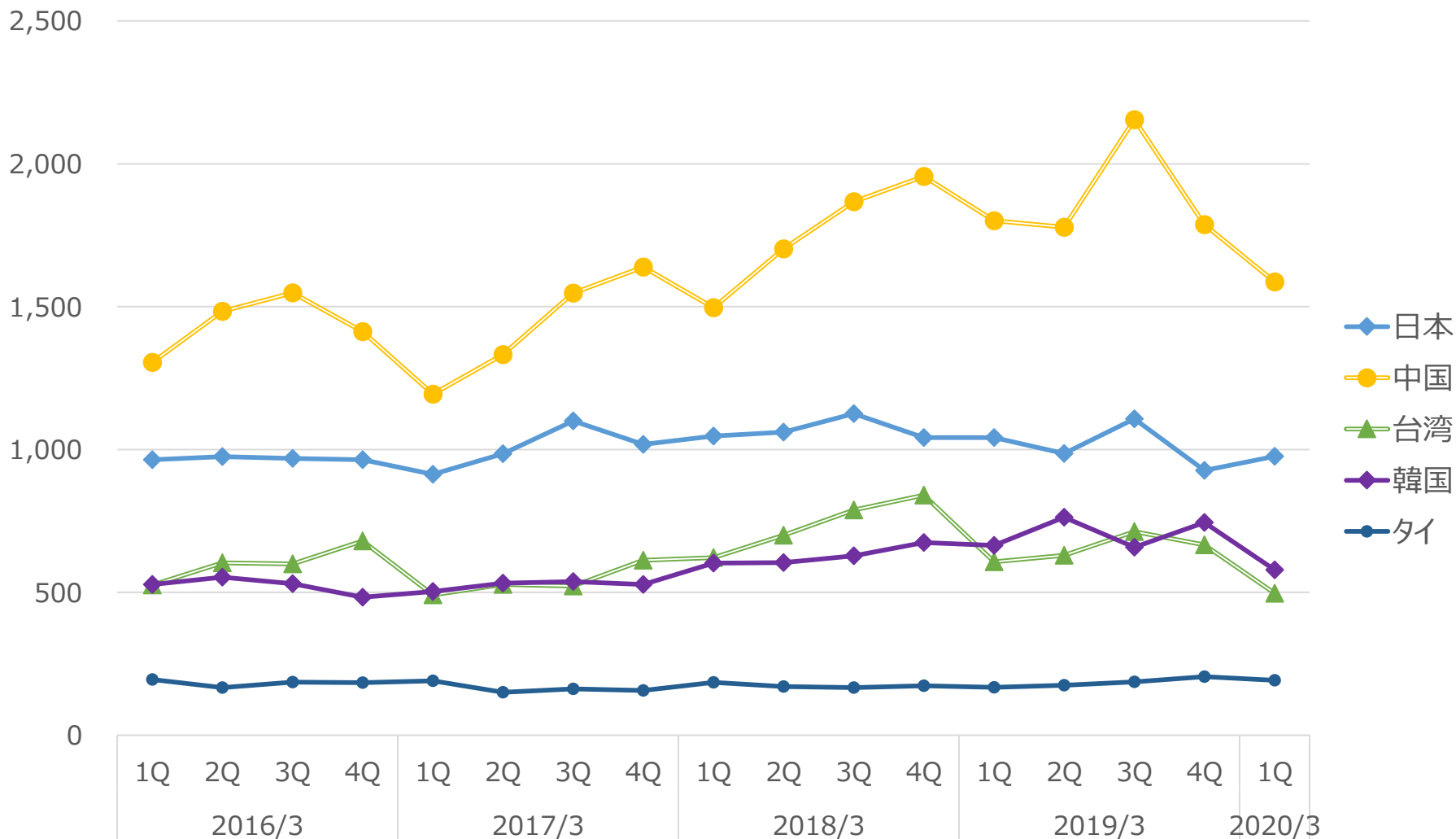
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング … プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

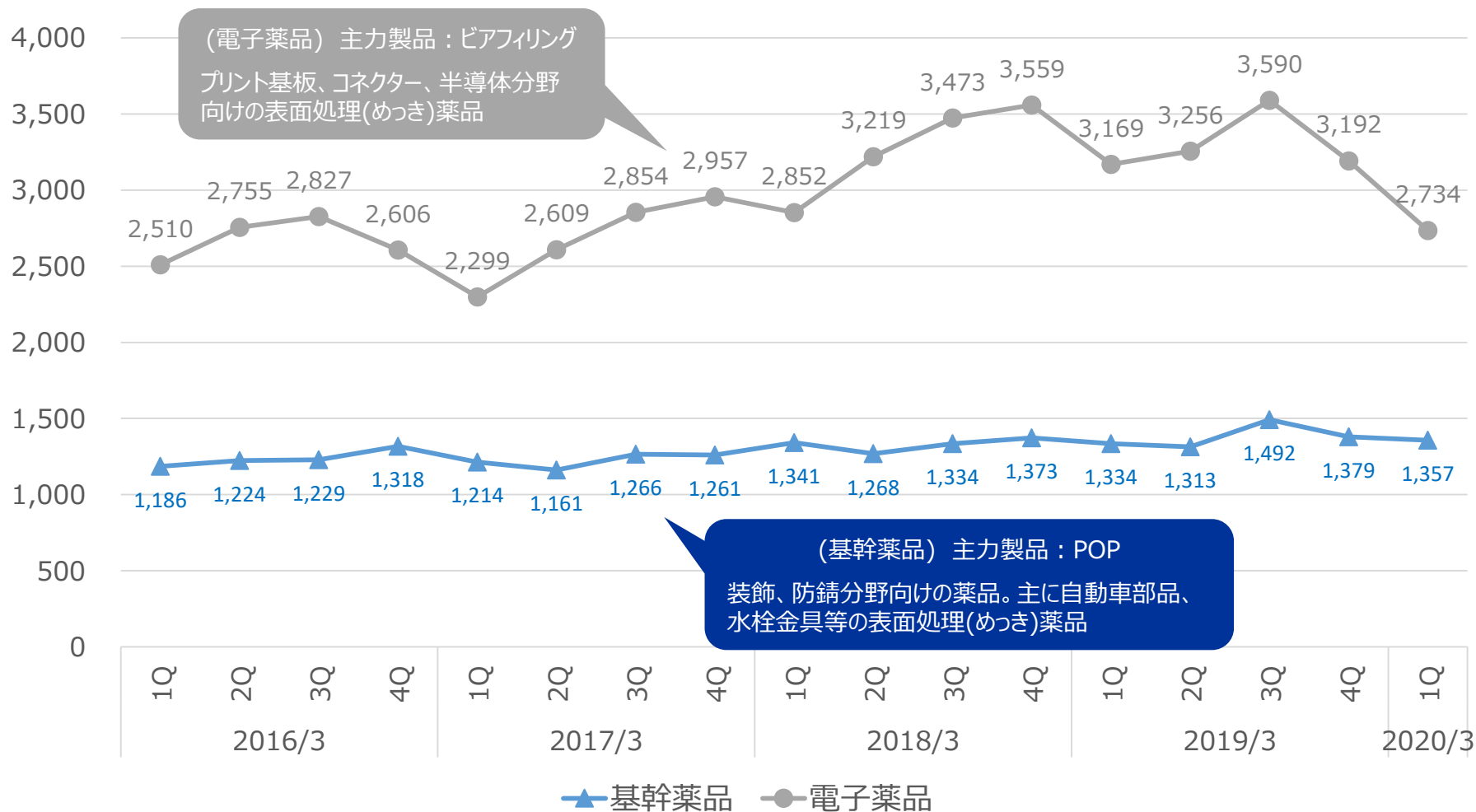
(単位：百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

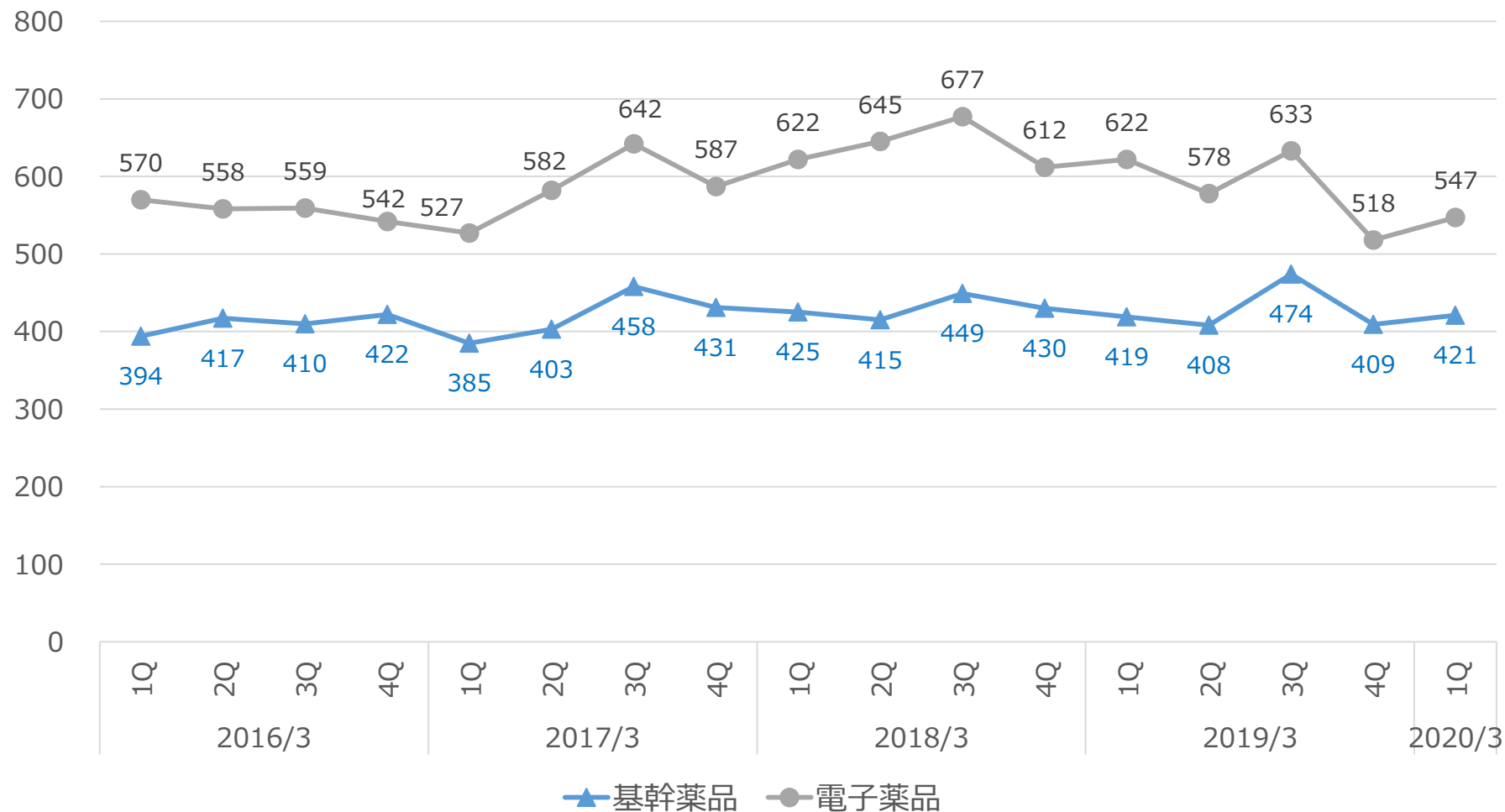
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

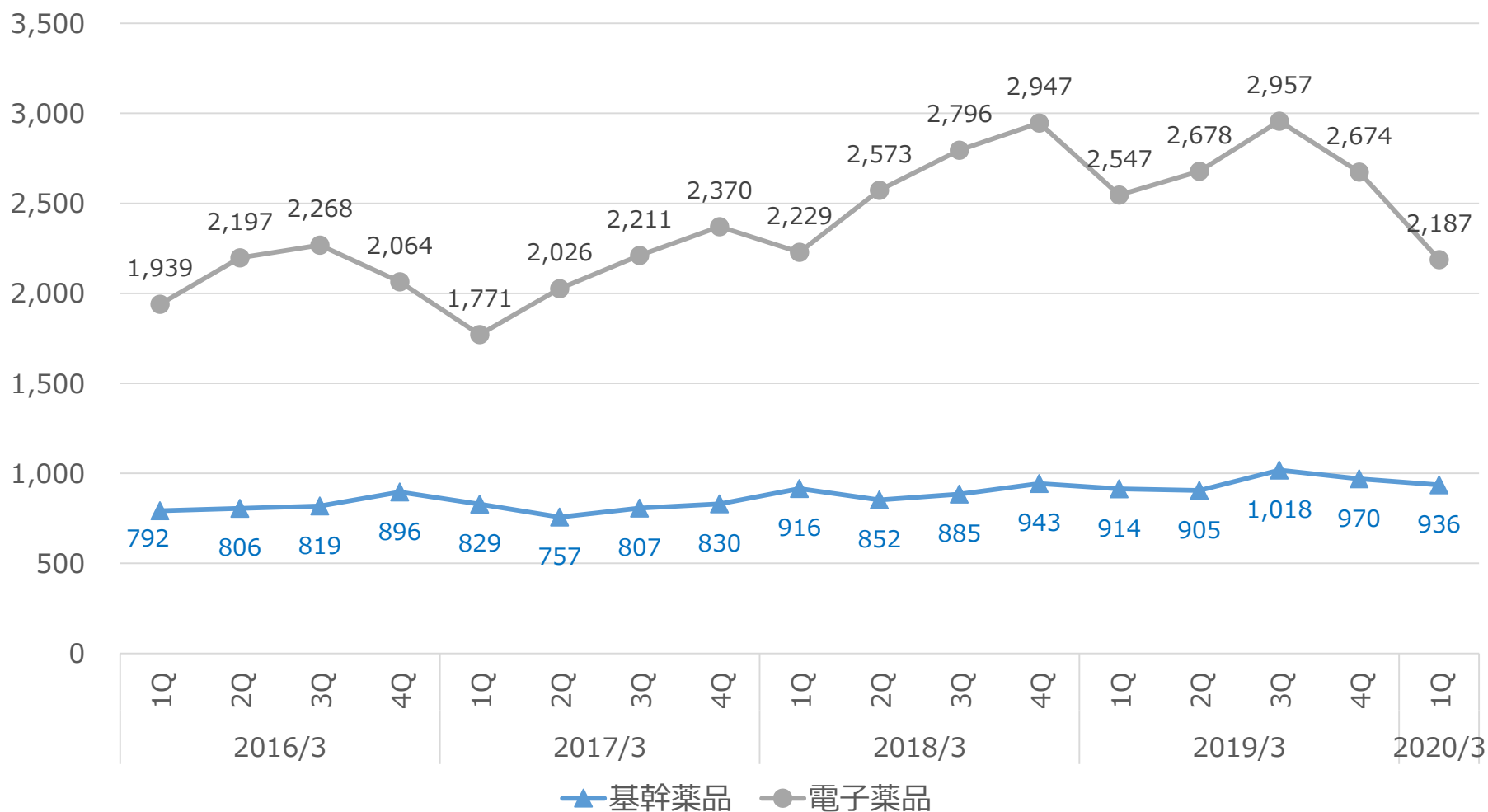
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

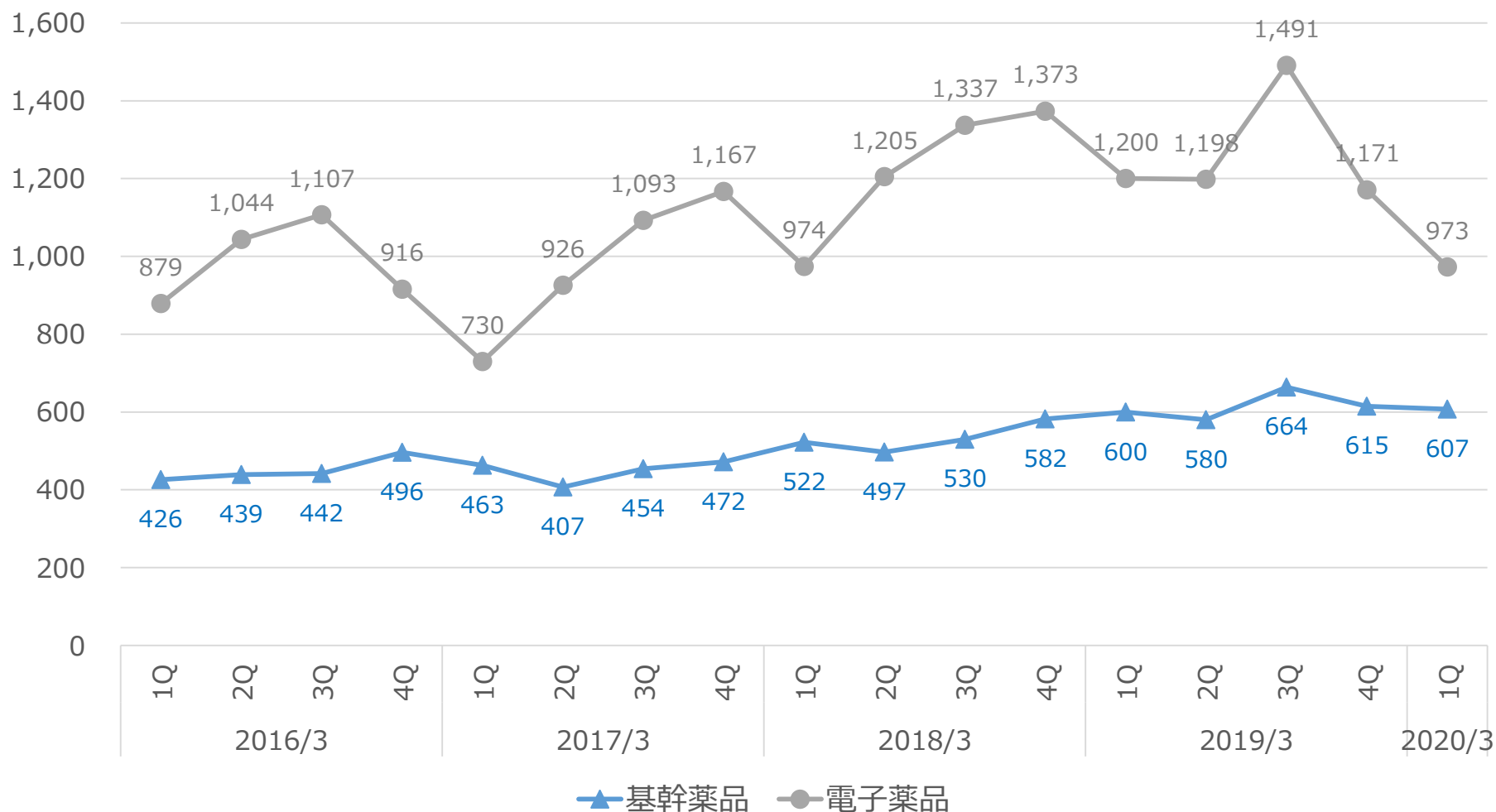
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

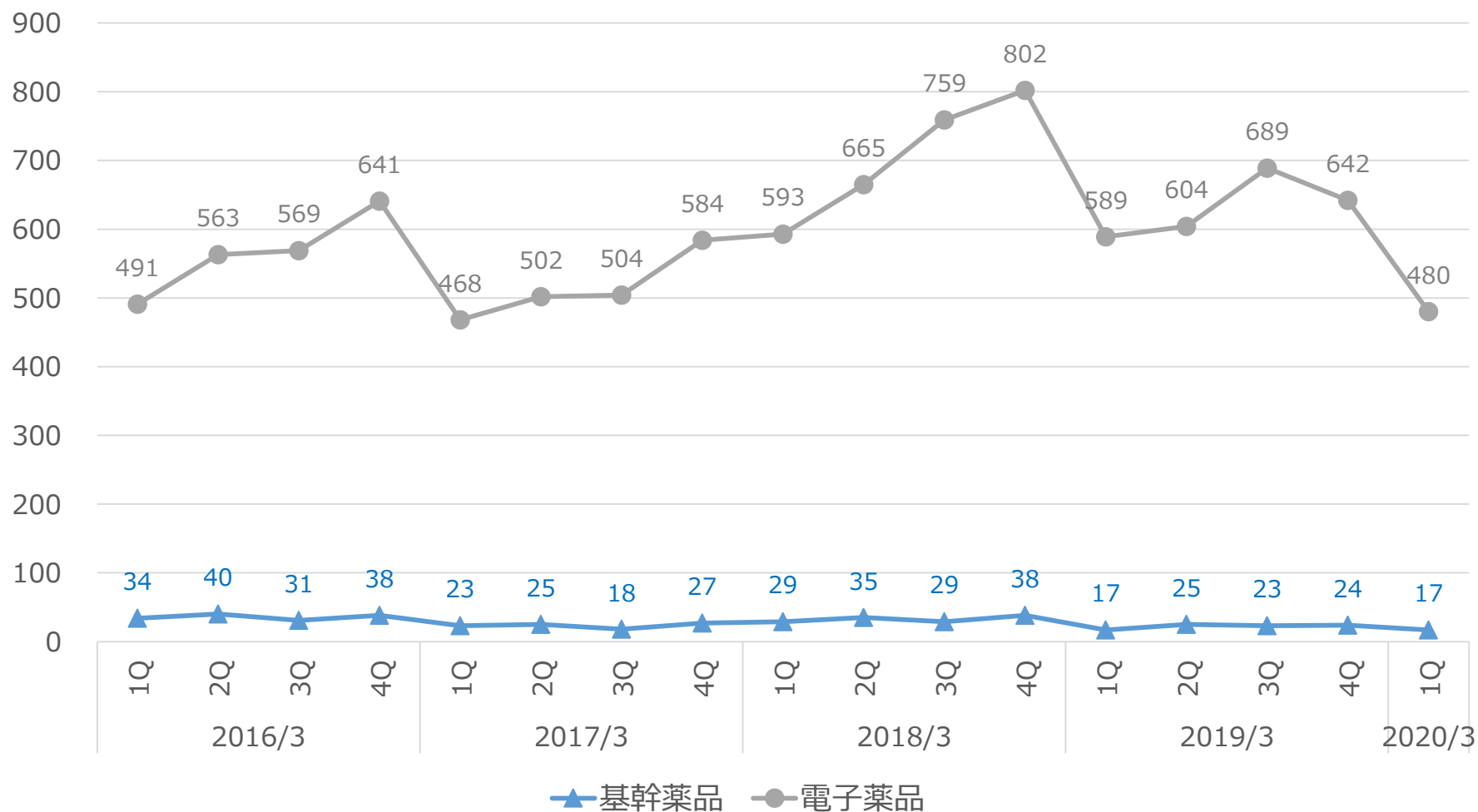
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

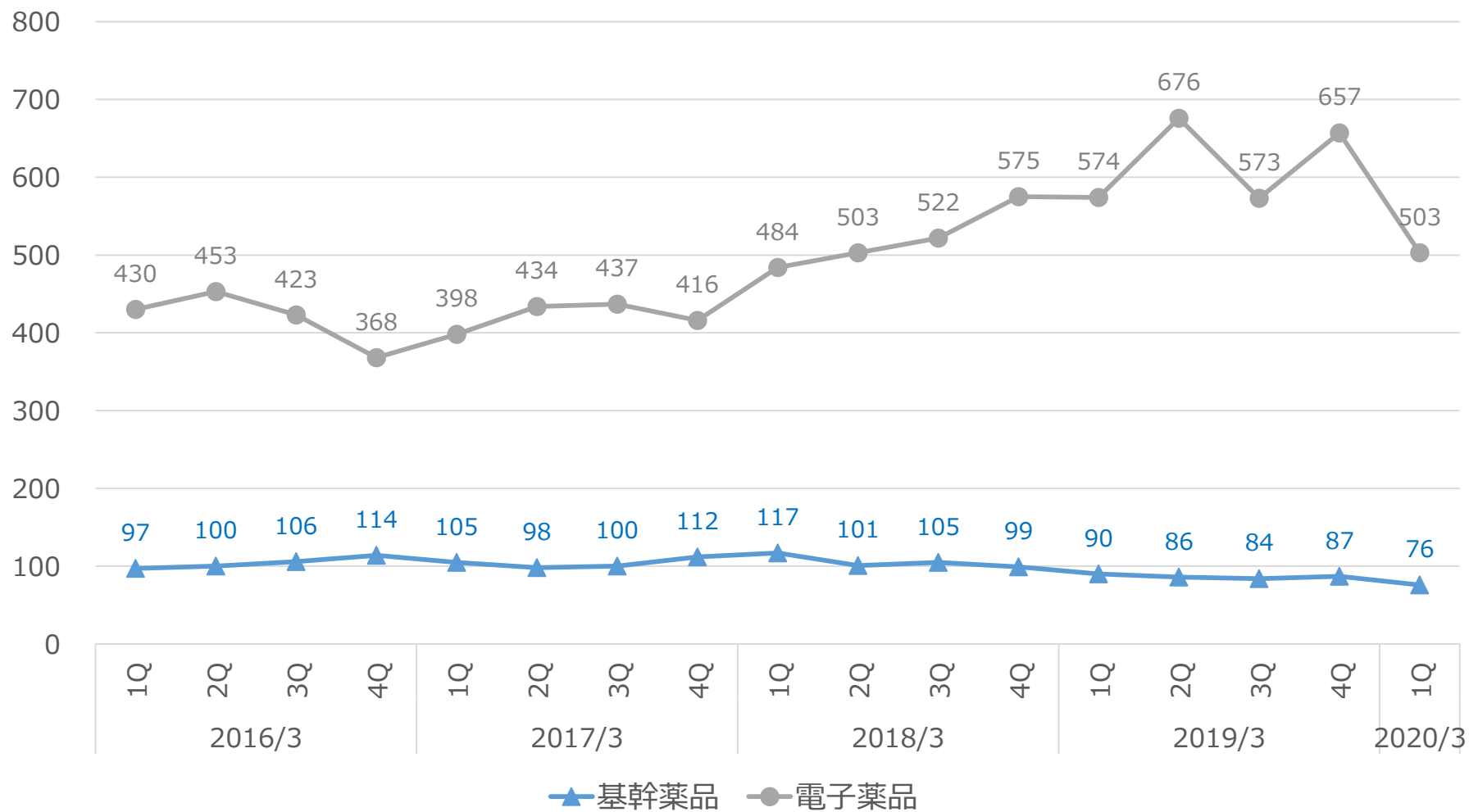
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

韓国



2020年3月期業績予想

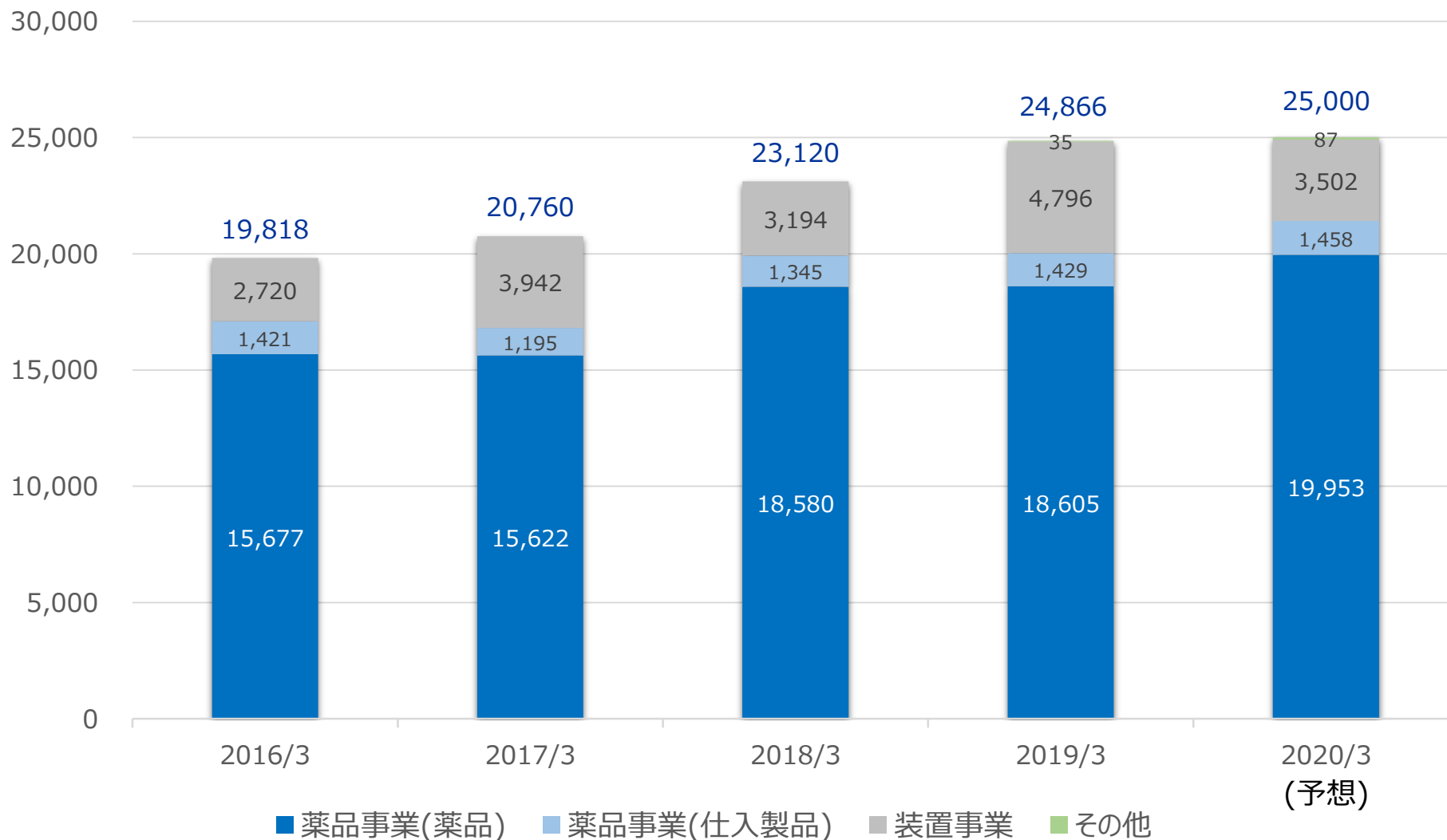
(単位：百万円)

2020年3月期	1Q (実績)	上半期 (予想)	通期 (予想)	通期予想に 対する進捗率
売上高	4,793	11,400	25,000	19.1 %
営業利益	1,278	3,000	7,200	17.7 %
経常利益	1,292	3,100	7,300	17.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	908	2,150	5,000	18.1 %
1株当たり 当期純利益	33円49銭	79円40銭	184円79銭	—

※ 修正無し

年度別製品構成別売上高推移 (予想)

(単位：百万円)



配当予想

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
1株当たり配当金	中間	17.5円	22.5円	23.5円 (1円増配)
	期末	25円 (内：記念配当 2.5円)	22.5円	23.5円 (1円増配)
	年間	42.5円 (内：記念配当 2.5円)	45円	47円 (1円増配)

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、配当性向25%目安とすることを基本方針としております。

〈参考資料〉

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品



会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 12億0,672万円

年商 : 単体 137億円 連結 248億円 (2019年3月期末)

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二
代表取締役社長兼COO 木村 昌志

従業員数 : 単体 255名 連結 571名 (2019年3月末現在)

ISO認証取得

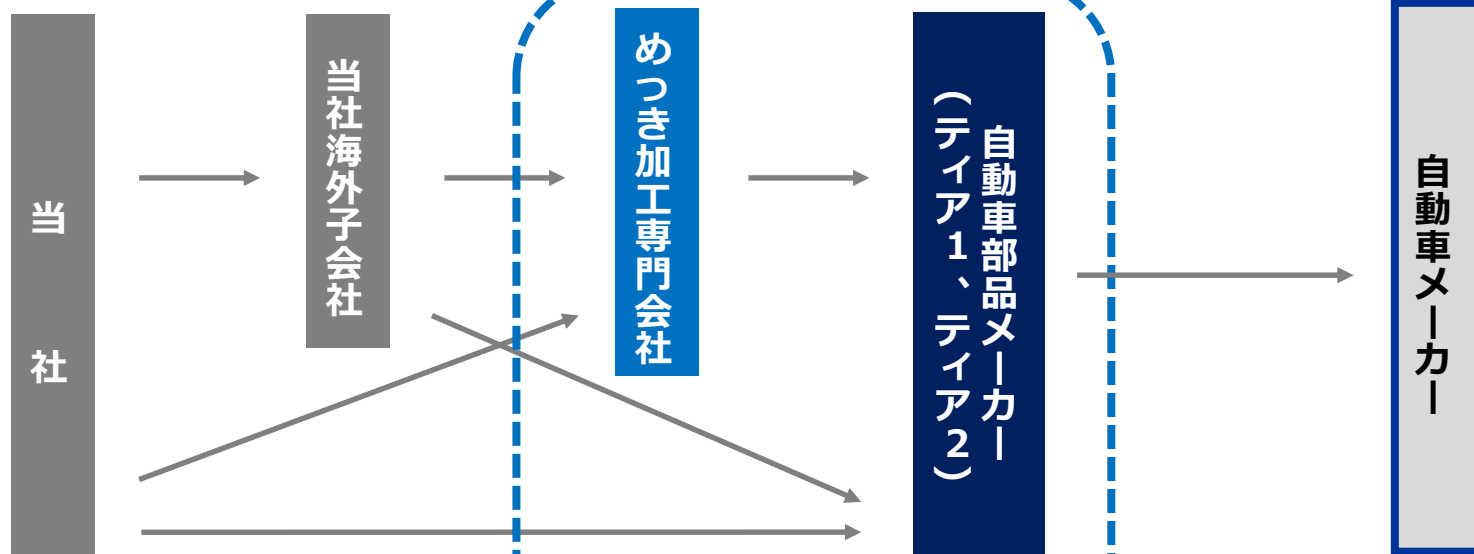
ISO9001 生産本部・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

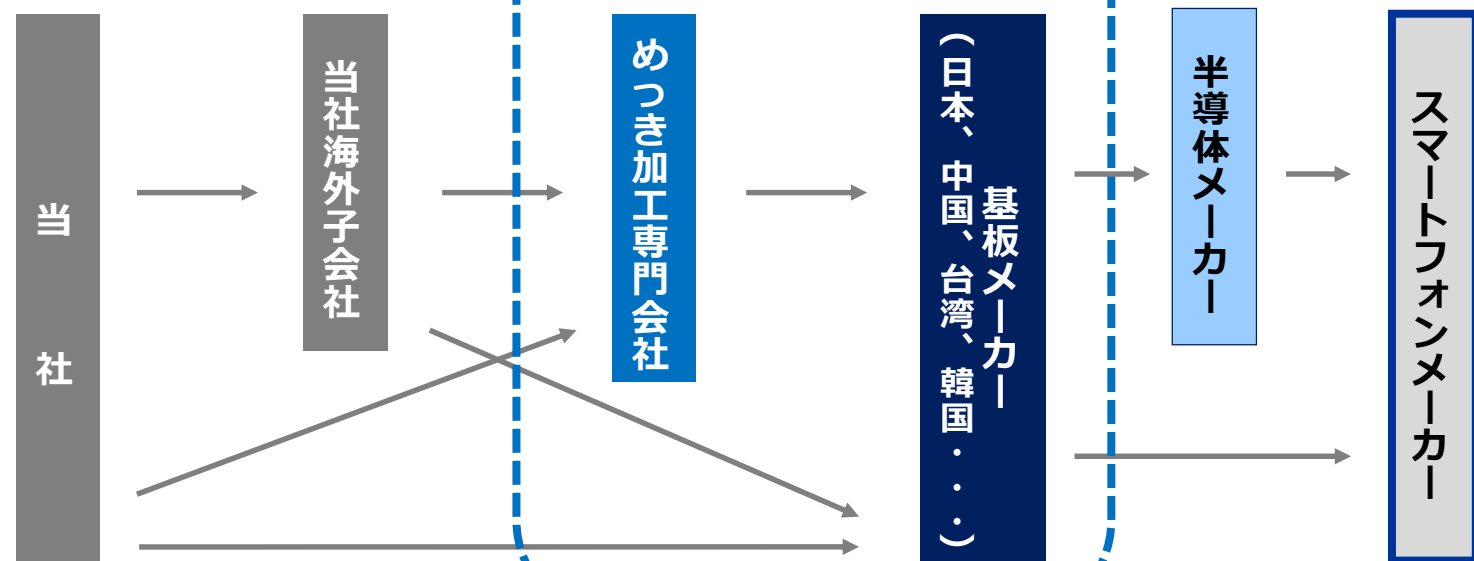
主な商流

顧客（販売先）

自動車



スマートフォン



主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品 (フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具 (給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品 (ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板 (両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品 (リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体 (シリコンウエハー)

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工

事業その他	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売
	ワイン	ワインおよびブドウ苗木の生産、販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ：
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室
TEL: 03-6895-7004